

全専各連

ホームページから広報（PDF版）がダウンロードできます

No.141 2009年7月7日

発行：全国専修学校各種学校総連合会

発行人：中込 三郎

編集人：菊田 薫

〒102-0073

東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館11階

Tel:03(3230)4814 Fax:03(3230)2688



全専各連第58回定例総会・第109回理事会を開催

中教審『キャリア教育・職業教育特別部会』への対応経過報告



総会で来賓あいさつを述べる塩谷立文部科学大臣・衆議院議員・専修学校等振興議員連盟事務局長



懇親会で来賓あいさつを述べる町村信孝衆議院議員・専修学校等振興議員連盟会長

6月17日、東京都・グランドアーク半蔵門を会場として、全専各連第58回定例総会・第109回理事会が開催された。出席者は委任状を含めて156名（司会は山本匡総務委員）。

吉田松雄副会長の開式の言葉に続き、中込三郎会長の紹介により、文部科学大臣の塩谷立衆議院議員・専修学校等振興議員連盟事務局長が来賓あいさつとして「日頃よりキャリア教育・職業教育の推進に尽力している専修学校及び各種学校の皆様に感謝を申し上げる。ニート・フリーターや、深刻な経済不況が問題となっているいまこそ、若年者の勤労観の育成は重要な課題であり、今後、後期中等教育から高等教育において、キャリア教育・職業教育の位置付けを確立し、『新たな学校種の創設』について考えていく必要がある。現在、中央教育審議会『キャリア教育・職業教育特別部会』は、中間報告（6月中を予定）の取りまとめに向けて議論が進められており、より具体的な検討も始まるだろう。今後も、全専各連と協力しつつ、対応していきたい」と述べた後、公務により退席された。

次に、鎌谷秀男前会長があいさつに立ち『『新たな学校種の創設』及び『現行制度の充実・改善方策』という、2つの振興方策実現のため尽力してほしい』と述べた後、中込会長が会長あいさつとして「中教審特別部会で議論されている『新たな学校種の創設』とあわせて、運動方針に掲げている『現行制度の充実・改善方策の実現』についても

積極的に対応し、実現を目指していきたい。同時に、我々の学校群は、教育の質を担保していくため、常に改善を図り、成長していかなければならない」と述べた。

続いて、塩原誠志文部科学省専修学校教育振興室長が「厳しい経済情勢の時代だからこそ益々強みを発揮する専修学校及び各種学校の職業教育を、文部科学省としても後押ししていきたい」と述べ、現状報告として中教審特別部会の審議状況、今後の見通し等について説明を行った。

議長団には、常任理事会の推薦候補者である浦山哲郎理事が議長、平田眞一理事が副議長に選出された。議長が会議の有効な成立を確認した後、議事録署名人として橋本榮一理事と千葉茂理事を選任し、提出議案の審議に入った。

【第1号議案 平成20年度事業報告（審議事項）】

秋葉英一理事・総務委員長が概要報告を行った後、事務局が会議の開催状況、委員会活動等の事業報告を行った。次に、川越宏樹新職業教育体系推進担当副会長が「専修学校の振興に関する検討会議」への対応・1条校化推進について、過去の経緯も含めて報告を行った。

【第2号議案 平成20年度決算報告ならびに監査報告（審議事項）】

齋木寛治理事・財務委員長が配布資料に基づき、収支計算書の各科目の詳細（事業活動収支における予算対比の内容、「職業教育の日」の推進・1条校化運動強化を目的と



中込三郎全専各連
会長はあいさつ
の中で、「新たな学校
種の創設」に向け
た強い決意を述べ
た。

した投資活動収支等)、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等について説明を行った。

続いて齋藤力夫監事が全て適正との監査報告を行った。

第1号議案、第2号議案は一括で審議され、ともに質疑はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

【第3号議案 平成21年度事業計画案(審議事項)】

秋葉総務委員長が、運動方針策定のポイントについて説明を行った後、2月の理事会で承認された原案からの変更点(①1条校化推進本部を改称し、「仮称」としていた「新職業教育体系推進本部」を正式名称としたこと、②定例総会(6月17日)の議題に「会則及び施行細則の一部改正」を追加したこと)について説明した。

続いて、事務局が基本方針、秋葉総務委員長が重点目標、川越新職業教育体系推進担当副会長が「中央教育審議会キャリア教育・職業教育特別部会等への対応」について特別部会の審議状況を踏まえて説明。次に事務局が、運動方針の実現に向けた専修学校等振興議員連盟とのより一層の連携、会議の開催、各委員会活動方針、広報活動の一層の推進等について説明した。

【第4号議案 平成21年度収支予算案(審議事項)】

齋木財務委員長が、配布資料に基づき、予算案立案方針として、平成21年度の運動方針(新職業教育体系推進運動の強化、議連対応、振興大会の開催等)に基づき、単年度ベースで収支の均衡を図る方針で予算編成を行ったこと、各科目の詳細について説明を行った。

【第5号議案 平成21年度第1次補正予算案(審議事項)】

齋木財務委員長が配布資料に基づき、平成20年度の決算額確定を受けた、補正後の予算額について説明した。

第3号議案、第4号議案、第5号議案は一括で審議され、「現行制度の充実・改善方策の実現」の一つである、激甚災害法への対応、文部科学省・厚生労働省の専修学校関連予算等について質疑応答が行われたほかに意見はなく、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

【第6号議案 会則及び施行細則の一部改正(審議事項)】

栗谷川悠理事・組織委員長が配布資料に基づき、提案に至る経緯及び理由、改正案(①役員・代議員の就任年齢を「就任年度4月1日時点で満70歳以下」とすること(但し

監事の中で「会員以外の者」については年齢を特に定めない)、②「理事」は会員の中から都道府県協会等が推薦する者(本改正案の就任年齢要件を満たす者)とすること、③「ブロック長」は都道府県協会等代表者の協議により推薦された者(本改正案の就任年齢要件を満たす者)とすること)を説明。

本議案については、役員・代議員の就任年齢に関する質疑応答が行われ、各都道府県における円滑な職務の継承等についての意見が述べられた後、出席者全員異議なくこれを拍手承認した。

以上により、議長が全ての議事の終了を確認した後、平松昌弥放送大学教務部連携教育課長から、専門学校と放送大学との連携制度(編入学、併修制度等)について、事務局から「AOにかかる入学願書受付時期への対応」について説明が行われた。

最後に、中村徹副会長が閉式の言葉として、運動方針の実現を目指し努力していくと述べた。

総会終了後に開催された懇親会では、冒頭、山谷えり子参議院議員・議連事務局次長が来賓あいさつを述べた。その後、町村信孝衆議院議員・議連会長も駆けつけ「新たな学校種の創設について、来年の通常国会に法案を提出し法律改正に繋げるためにも、早期に中教審特別部会の答申が取りまとめられるよう、今後も尽力していきたい」とあいさつを述べた。

その後、出席者の中で活発な意見交換が交わされ、盛会のうちに全日程を終了した。

※第58回定例総会・第109回理事会資料は全専各連HPからダウンロードが可能ですのでご利用ください。

◆全専各連HP：<http://www.zensenkaku.gr.jp/>

全専各連常任理事会

6月17日、東京都・グランドアーク半蔵門において第3回全専各連常任理事会を開催した。

中込三郎会長の開会あいさつに続き、新しく九州ブロック長に就任した、堤惟義常任理事があいさつを述べた。

続いて会則第32条により中込会長が議長に就任し議事に入った。審議事項として定例総会・理事会に提出する「第1号議案 平成20年度事業報告」、「第2号議案 平成20年度決算報告ならびに監査報告」、「第3号議案 平成21年度事業計画案」、「第4号議案 平成21年度収支予算案」、「第5号議案 平成21年度第1次補正予算案」、「第6号議案 会則及び施行細則の一部改正」の各提案事項について審議を行い、提案どおり定例総会・理事会に上程することとなった。

定例総会・理事会の議長候補者を選出、審議を終了した。

心よりお祝い申し上げます 春の叙勲・褒章の受章者

平成21年度春の叙勲・褒章が次の方々に贈られました。長年の努力と功績が認められた関係者のご芳名を掲載し、心よりお祝い申し上げます。(敬称略)

* 旭日小綬章

門司 健 (佐賀県・九州環境福祉医療専門学校理事長)

* 瑞宝小綬章

沖田 岑夫 (岩手県・盛岡情報ビジネス専門学校校長)

* 旭日双光章

山形 正喜 (山梨県・山梨県美容専門学校校長)

* 瑞宝単光章

久米 美知子 (福島県・今泉女子専門学校特別講師)

稲福 全昌 (神奈川県・湘央医学技術専門学校理事長)

* 藍綬褒章

永井 宏昌 (奈良県・藤影きもの専門学校理事長)

中教審キャリア教育・職業教育特別部会審議の状況

前号(140号)にて報じた中央教育審議会キャリア教育・職業教育特別部会は、第3回以降、次のとおり開催された。

【第3回(3月11日)】諮問事項「基礎的・汎用的能力の明確化と育成の在り方」関連の意見発表及び自由討議。

【第4回(3月23日)、第5回(4月14日)】諮問事項「高等教育における職業教育の在り方」関連の意見発表、企業人事担当者ヒアリング及び自由討議。

【第6回(4月30日)、第7回(5月12日)】諮問事項「後期中等教育における職業教育の在り方」関連の意見・事例発表及び自由討議、これまでの議論を踏まえた全体討議。

【第8回(5月27日)】産業界委員の意見発表、これまでの議論を踏まえた全体討議。

【第9回(6月12日)】他省庁取組の説明、審議経過報告(構成案・骨子案)の自由討議。

【第10回(6月22日)】作業部会審議結果の説明、審議経過報告(案)の自由討議。

第11回(6月29日)を目処(7月に予備日2回)に審議経過報告を取りまとめ、公表する予定。なお、第10回配布の審議経過報告(案)の概要は次のとおり。

■後期中等教育におけるキャリア教育・職業教育の在り方

【高校でのキャリア教育・職業教育の充実等】

- 各学科共通の改善の方向性…進路指導の改善・充実、普通科での職業関連教科・科目の充実、推進体制の整備。
- 専門学科の改善の方向性…教員の指導力の向上、実務経験を有する者の教員への登用の促進、施設・設備の改善・充実、地域産業や地域社会との連携・交流。
- 専門的な知識・技能の高度化への対応と制度(専門高校)の改善の方向性…専門高校の5年制化、専門高校を基にした高等専門学校の設置の可能性、専攻科の在り方と高等教育機関との接続。

【高等専修学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方】

○就職に役立つ知識・技能等の修得に加え、社会人・職業人として自立するための能力の育成の強化に向けた職業教育の充実が必要。

○高等学校との相互の学習成果の評価や中学校でのキャリア教育・職業教育との連携によるキャリア教育の推進等の検討が必要。

■高等教育における職業教育の在り方

【職業教育を通じて育成することが求められる能力】

- ①職業分野において必要な専門的知識・技能
- ②専門的知識・技能を活かしつつ活躍していくために必要となる実践性、創造性、応用力、批判力、課題発見力、問題解決力等の能力
- ③自立した職業人として必要な自己学習力、キャリアデザイン力等

【職業教育の充実とそれを担保するための枠組み】

- 各機関の役割・機能と養成すべき人材像を明確にし、各特性を踏まえた、より実践的な職業教育の充実を図る。
- より実践的な職業教育の機会を確保するため、職業との関連性を重視した実践的な教育を通じて、実践的・創造的な職業人を育成する枠組みを整備する必要がある。

【「職業との関連性を重視した実践的な教育を通じて、実践的・創造的な職業人を育成する枠組み」のイメージ等】

- 教育課程…実験・実習等の職業実践的な演習型授業の割合を重視。関連分野の企業等への一定期間にわたるインターンシップの義務づけ。教育課程の編成過程における社会(関連分野の企業等)との連携・対話の制度的確保。
- 教員資格・教員構成…実務卓越性(実務知識・経験の有無、職業資格等)の重視。
- 対象者…高等学校等卒業者。生涯学習ニーズにも対応。
- 修業年限…2年若しくは3年の課程又は4年以上の課程。
- 具体的な制度化の方向性…「大学・短期大学等と別の学校種としての整備」が適当と考えられる。具体的な制度設計について、課題を踏まえた上で更に検討が必要。

文部科学省 塩原誠志専修学校教育振興室長 就任挨拶



4月1日付で専修学校教育振興室長に就任いたしました塩原誠志と申します。

すでにご案内のとおり、国では、昨年12月に文部科学大臣からの諮問を受け、現在、「学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」、中央教育審議会における活発な審議が行われています。職業教育を軸に初等中等教育から高等教育までの全般を通じた見直しを行うというアプローチは、これまでなかったものであり、我が国の学校教育全体の在り方もこれから大きく変わろうとしています。100年に1度とも言われる深刻な経済不況を背景とし

て、働く人たちや、企業の活動をめぐる環境も厳しさを増しています。少子化の進展と相まって、学校経営にとっても非常に困難の多い時代ではありますが、このような時だからこそ、専修学校・各種学校にはある種の強みがあるのではないかと感じています。誰もが自らの生涯にわたる職業生活設計を真剣に考えなければならない時代、企業の側も、どの学校を出たかより、何を学んできたか、何ができるかを問う時代であるからこそ、ひとえに学習者のニーズ、産業界の多様なニーズに柔軟かつストレートに応え、実績を重ねてきた専修学校・各種学校の教育が、改めて見直されるチャンスなのではないかと考えるのです。

微力ではございますが、キャリア教育・職業教育の振興、専修学校・各種学校教育の更なる発展のために、最大限努力して参る所存ですので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

文部科学省人事異動

文部科学省において、以下のとおり人事異動がありましたので、お知らせいたします。

○生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室長
高橋雅之氏→塩原誠志氏（平成21年4月1日着任）

○専修学校教育振興室専修学校第一係
佐々木浩氏→谷由加氏（平成21年4月1日着任）
○専修学校教育振興室専修学校第二係
増尾公三郎氏→岩崎碧氏（平成21年4月1日着任）

山谷えり子氏を再び参議院へ

全専各連では、去る3月の理事会で、現参議院議員の山谷えり子氏を次期参議院選挙の団体推薦候補者とする決議をいたしました。山谷先生は前回の参議院選挙（平成16年）でも全専各連の推薦を受け、比例代表（全国区）自民党15名当選者中6位に上位当選を果たされました。以来、教育再生担当の総理補佐官として活躍され、職業教育の振興にもひとかたならぬ情熱を傾けられております。現在中教審において、職業教育の制度を、日本の教育制度の重要な柱のひとつとしていかにすべきかが真剣に論議されているところです。

この大切な時期に、自民党専修学校等振興議員連盟を中心に、専修学校各種学校のより大きな飛躍にむけて山谷先生に更なるご尽力をお願いするには、先生の国政での足場をしっかりと固める必要があることは言を待ちません。

今後は、各ブロック会議の席など、山谷先生が直接お出でになる場も多くなります。会員の皆様をはじめ、関係の



ポスター（室内掲示用）A3サイズ

方々のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

なお、山谷先生の室内掲示用ポスターと配布用リーフレットも準備しております。必要に応じて各都道府県協会等事務局へご要請いただければ送付させていただきます。

文科省・厚労省 専修学校関連事業説明会

専修学校の就職指導担当者などを対象として、経済・雇用情勢の急激な悪化に対応した就職支援や学生・生徒相談など、支援体制の充実を図り、合わせて、平成21年度文部科学省専修学校関係予算及び厚生労働省の施策について周

知することを目的とした説明会が、全国4会場で開催された。主催：文部科学省、協力：厚生労働省・全専各連。開催日程、場所は以下のとおり。2月9日（北海道）、2月12日（大阪）、2月17日（福岡）、2月25日（東京）。

ブロック長・都道府県協会等

代表者交代・事務局転移のお知らせ

<ブロック長交代>

○九州ブロック

堤 惟義 氏（佐賀県・佐賀コンピュータ専門学校）

<代表者交代>

○（社）埼玉県専修学校各種学校教育振興会

浅沼 良臣 氏（川口文化服装専門学校）

○（社）福井県専修学校各種学校連合会

赤星 哲志 氏（アイビービジネスカレッジ）

○（社）広島県専修学校各種学校連盟

永見 憲吾 氏（I G L健康福祉専門学校）

<事務局移転>

○全国工業専門学校協会

〒555-0032

大阪市西淀川区大和田5-19-30

修成建設専門学校内

TEL：06-6474-1644 FAX：06-6474-1687

専教振だより

財団法人専修学校教育振興会

<http://www.sgec.or.jp>

J 検 <http://www.sgec.or.jp/jken>

B 検 <http://www.sgec.or.jp/bken>

J 検 出願者集計結果

2009年前期情報検定（J 検）情報活用試験ペーパー方式（平成21年6月21日実施）、ならびに今年度よりスタートしたC B T方式（平成21年4月15日～6月1日現在）の出願者数が次のとおりまとまった。

<ペーパー方式>

出願団体数	142団体
1 級	2,328名
2 級	4,212名
3 級	2,362名

<両方式合計> 9,167名

<C B T方式>

出願団体数	12団体
1 級	27名
2 級	140名
3 級	98名

B 検 出願者集計結果

7月5日（日）に実施される第26回ビジネス能力検定（B 検）の出願者集計が、次のとおりまとまった。可否の発表は平成21年8月下旬の予定。

・出願団体数	297団体	・出願者総数	16,574名
		うち2 級	3,557名
		うち3 級	13,017名

専教振第67回評議員会・第97回理事会

3月17日、東京都・都市センターホテルを会場として専教振第67回評議員会・第97回理事会を開催した。評議員会は委任状を含めた出席者23名を得て午前11時から、理事会は委任状を含めた出席者20名を得て午後2時から開会。福田益和理事長から開会のあいさつが述べられた後、評議員会では平田眞一評議員を議長に、宮崎善昭評議員と氏原憲二評議員を議事録署名人に選出。また理事会では福田理事長が議長に就任。議事録署名人に古武一成理事と大麻正晴理事を選出し審議に入った。なお、理事会では、鎌谷秀男前理事長の永年の功績に対する感謝状の贈呈が行われた。

評議員会・理事会ともに、はじめに【第1号議案 平成21年度事業計画案】に関して、配布資料をもとに事務局が教員研修・研究事業、出版事業、保険事業、検定事業等、各事業の計画内容を説明。【第2号議案 平成21年度収支予算案】に関しては、配布資料をもとに坪内孝満財務担当常務理事が概要を説明した後、事務局が、一般会計、事業会計、検定事業会計（J 検、B 検）の各科目の予算案について説明。両議案に関する質疑応答では「検定事業の推進方

策]「本財団の今後のあり方」等について意見が述べられたが、特に異議はなく、全会一致で原案どおり拍手承認。

以上により、議長が全ての議案の審議、承認を確認し議

事を終了。なお、評議員会では審議事項の終了後、齋藤力夫監事より「公益法人制度改革」に関する情報提供が行われた。

J 検・B 検 成績優秀者表彰式

3月26日、東京都・アルカディア市ヶ谷を会場に、平成20年度文部科学省後援ビジネス能力検定・情報検定の成績優秀者表彰式を開催した。J 検・B 検とも、各回・各級の成績優秀者には、文部科学大臣賞、日本技能検定協会連合会会長賞、専教振理事長賞、専教振優秀賞の各賞がそれぞ

れ授与され、受賞者69名のうち、当日は16名が出席した。

来賓には、高橋雅之文部科学省専修学校教育振興室長（当時）、植松稔日本技能検定協会連合会顧問から、賞状の授与・祝辞をいただいた。また、主催者を代表して、中村徹専教振副理事長が努力を労い激励の言葉を贈った。

平成21年度 年間予定

<役員会・総会等>

●都道府県協会等代表者会議

平成21年11/26（木）

●全専各連第110回理事会

平成22年2/25（木）

●全国学校法人立専門学校協会理事会

平成22年2/26（金）

<平成21年度ブロック会議>

●近畿ブロック会議

平成21年7/17（金）

和歌山県・ホテルアバローム紀の国

●中国ブロック会議

平成21年7/21（火）

鳥取県・米子全日空ホテル

●九州ブロック会議

平成21年7/23（木）～24（金）

鹿児島県・鹿児島サンロイヤルホテル

●四国ブロック会議

平成21年8/25（火）～26（水）

愛媛県・ホテルジャルシティ松山

●中部ブロック会議

平成21年8/27（木）～28（金）

福井県・あわら温泉グランディア芳泉

●北関東信越ブロック会議

平成21年8/28（金）

長野県・メルパルク長野

●北海道ブロック会議

平成21年8/28（金）～29（土）

北海道・札幌ガーデンパレス

●南関東ブロック会議

平成21年9/15（火）

埼玉県・浦和ロイヤルパインズホテル

●東北ブロック会議

平成21年9/17（木）

宮城県・ホテル仙台プラザ

<検定試験>

●文部科学省後援・情報検定（J 検）

◇平成21年度前期試験

【情報システム試験・情報デザイン試験】平成21年9/6（日）

◇平成21年度後期試験

【情報活用試験】平成21年12/13（日）

【情報システム試験】平成22年2/14（日）

●文部科学省後援・ビジネス能力検定（B 検）

◇第27回【1級1次・2級・3級】平成21年12/6（日）

<研修会>

●C S M講座「専修学校等教職員向けキャリア・サポート・マインド養成講座」

◇東京会場・平成21年8/17（月）～19（水）

東京都・日本電子専門学校

◇大阪会場・平成21年8/25（火）～27（木）

大阪府・ホスピタリティツーリズム専門学校大阪

●ビジネス教育「教員と講師のための研修会」

◇沖縄会場・平成21年7/16（木）

那覇市・沖縄総合福祉センター

◇福島会場・平成21年9/3（木）

郡山市・ビックパレットふくしま

◇島根会場・平成21年9/11（金）

松江市・サンラポーむらくも

◇北海道会場・平成21年9/15（火）

札幌市・札幌ガーデンパレス

◇広島会場・平成21年11/20（金）

広島市・メルパルク広島

◇熊本会場・平成21年11/27（金）

熊本市・K K R ホテル熊本

●ビジネス教育指導者研修会

平成21年8/5（水）～7（金）

東京都・クロスウェーブ府中

●第14回ビジネス教育事例発表研修会

平成22年2/18(木)～19(金)

東京都・都市センターホテル

<その他>

●第64回全国私立学校審議会連合会総会

平成21年10/29(木)～30(金) 三重県伊勢市

●第21回全国生涯学習フェスティバル

「まなびピア埼玉」

平成21年10/30(金)～11/3(火)

埼玉県・さいたまスーパーアリーナけやき広場

その他の お知らせ・広報全専各連
プラスWEB 掲載記事一覧

詳細は全専各連ホームページ「広報全専各連」よりご覧いただけます。

<http://www.zensenkaku.gr.jp/koho/>

■課程別設置者別部会等総会■

○全国個人立専修学校協会第13回定例総会・研修会

(6月4日)

■イベント・研修会・スポーツ・検定など■

<専教振主催研修会>

○平成21年度事務担当者会議(4月23日)

<部会・関係団体等主催>

○全国専門学校情報教育協会専修学校フォーラム2009

(2月24～25日)

会員校の皆様へ

募集要項等に、3月31日までに入学辞退の意思表示をした者に授業料等を返還することを明記してあるか、不適切な記載がないかも併せ、改めてご確認ください。ご心配な点は都道府県所管課等とご相談ください。

本件に関わる通知等は全専各連ホームページにてご覧いただけます。

日本政策金融公庫 「国の教育ローン」

(お問い合わせ先) 日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター 0570-008656(又は 03-5321-8656)

※平成20年10月1日に国民生活金融公庫は他機関と統合し、日本政策金融公庫となりました。

平成21年度J検試験日程

CBT

J検が、CBT試験でも受験できます。
対象は、情報活用試験、情報システム試験
(基本スキル)です。詳しくはWebで。

「創る」「使う」「伝える」
情報検定はJ検

お問い合わせ：検定試験センター <http://jken.sgec.or.jp/>
TEL.03-5275-6336

情報システム試験 ※文部科学省後援

システムエンジニア認定
プログラマー認定
<前期>
試験日 平成21年9月6日(日)
出願期間 平成21年6月1日(月)～7月13日(月)
実施級/受験料 基本スキル 3,000円
システムデザインスキル 2,500円
プログラミングスキル 2,500円

情報デザイン試験 ※文部科学省後援

ビジュアルデザイン分野認定
インタラクティブメディアデザイン分野認定
プレゼンテーション分野認定
<前期>
試験日 平成21年9月6日(日)
出願期間 平成21年6月1日(月)～7月13日(月)
実施級/受験料 必修共通科目 2,000円
ビジュアルデザイン 1,500円
インタラクティブメディアデザイン 1,500円
プレゼンテーションデザイン 1,500円

専修学校各種学校生の就職を応援します

文部科学省後援

ビジネス能力検定

平成21年度B検試験日程

第27回検定実施日 平成21年12月6日(日)

- 実施級：1級(1次)、2級、3級
- 出願期間：平成21年9月1日(火)～10月20日(火)
- 受験料：1級6,000円 2級3,800円 3級2,800円



詳しくは
<http://www.sgec.or.jp/bken>

「疾病補償型学生新保障制度」のご案内

学校管理下の学生生徒の傷害事故等を保障する学生生徒災害傷害保険に加えて、学生生徒の傷害事故、疾病を24時間カバーする疾病補償型学生新保障制度を平成18年3月に財団法人専修学校教育振興会として創設いたしました。

この制度は、傷害治療にともなう諸費用の補償（治療実費、交通費、差額ベット代等）や心筋梗塞、脳疾患、熱中症などの全疾病を担保し、更に学生生徒の保証人に生じた疾病を含む災害を補償することにより、学生生徒をとりまく複雑化した社会のニーズに対応できる内容となっております。

○新保障制度の内容と補償額(学生生徒1人につき7,000円負担の場合)

保険種類	補償金額	補償内容
普通傷害保険	死亡後遺障害150万円 治療諸費用30万円	学生の24時間傷害事故について補償します。医師の治療を要し治療が始まった日から要した健康保険の自己負担額等を治療諸費用保険で支払。
個人賠償保険	賠償責任保険1000万円	偶然な事故により他人を死傷させたり、財物に損害を与え、法律上の損害賠償を負わされたときに賠償責任保険として支払。
学生葬祭保険	葬祭費用保険100万円	学生の傷害及び疾病による死亡を、学校管理下外でも24時間補償して支払。
弔慰金規程費用保険	弔慰金50万円	保証人の死亡に関して、事故によるケガ又は疾病がももて死亡した場合、葬祭費用保険金を支払。

引き受け保険会社:エース保険株式会社・日新火災海上保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社
代理店運営:株式会社ジャパン・プロテクト・システムズ

認定事務局

株式会社 ジャパン・プロテクト・システムズ

〒542-0012 大阪市中央区谷町9-1-22 NK谷町ビル

TEL:06-6191-8100 フリーダイヤル:0120-396-390

専修学校各種学校 学生生徒災害傷害保険のご案内

補償内容

学生・生徒の日常の大半を占める、正課中、学校行事中、学校休憩時間中、課外活動中の傷害事故

実習中等の賠償事故



通学特約を付帯することにより、通学中の傷害事故等も補償できます。

学校の授業等、学校行事または課外活動への参加の目的をもって、合理的な経路及び方法により、住居と学校施設との間を往復する場合等の傷害事故・賠償事故

財団法人専修学校教育振興会

補償金額・掛け金(保険料)

補償内容	正課中		通学中	
	昼間部	夜間部	昼間部	夜間部
死亡保険金	2,000万円	1,200万円	1,000万円	600万円
後遺障害保険金	90万円~3,000万円	54万円~1,800万円	45万円~1,500万円	27万円~900万円
入院保険金	事故の日から180日を限度に1日につき4,000円			
通院保険金	通院日数90日を限度に1日につき昼間部の場合1,200円・夜間部の場合1,000円			
賠償責任保険	対人補償 1名 5,000万円限度 / 1事故5億円限度 対物補償 500万円限度			

保険期間	昼間部		夜間部	
	通学特約無	通学特約有	通学特約無	通学特約有
1年	440円	700円	450円	630円
2年	770円	1,250円	820円	1,160円
3年	1,120円	1,810円	1,190円	1,680円
4年	1,430円	2,310円	1,510円	2,140円

※半年単位でのご契約も可能です

インターンシップ活動賠償責任保険

学生がインターンシップ活動中に、他人にケガをさせたり、他人の財物を壊してしまった場合に備えた、賠償責任保険制度です。

補償の対象者

学生生徒災害傷害保険に加入の学生に限りです

補償金額・年間保険料

活動内容	正課・学校行事または課外活動として行われるインターンシップ活動
補償金額	対人 1名1事故につき1億円限度 対物 250万円限度(免責金額5,000円)
保険料(1人につき)	250円

医療分野学生生徒賠償責任保険

「学生生徒災害傷害保険」に付帯されている賠償事故補償においては、「臨床、看護、歯科衛生・技工、診療放射線、理学療法、柔道整復師、あんま、マッサージ、はり、きゅう」などの医療関連実習の際の学生生徒の賠償責任事故が対象外となっていました。平成15年からは、正課および学校行事として行われる学校の管理下(インターンシップ活動も含みます。)の上記の医療関連実習の際の学生生徒の賠償責任事故を補償するコースを新設します。

補償の対象者

学生生徒災害傷害保険に加入の学生に限りです

補償金額・年間保険料

支払い限度額	対人 1名につき 1億円限度 1事故につき 1億円限度 対物 1事故につき 1億円限度
自己負担額	なし
保険料(1人につき)	1,000円

学校賠償責任保険

傷害保険と異なり、学校側の過失によって、学生生徒または第三者に対する賠償事故が発生し、学校が法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金が支払われる保険制度です。

補償の対象者

各学校

補償金額・年間保険料

補償金額	対人 1名につき 5,000万円限度 1事故につき 5億円限度 対物 1事故につき 500万円限度(免責金額:1万円)
保険料(1人につき)	4月1日~翌年3月31日 42円(1ヵ月単位での契約が可能です)

個人情報漏えい保険

本保険は、2つの補償で構成されております。

①賠償責任部分: 個人情報漏えい起因で、学校が法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。

②費用部分:

個人情報漏えいし、学校が事故への対応のために支出した必要不可欠な各種費用について保険金をお支払いいたします。

補償の対象者

各学校

補償金額・年間保険料

ご契約タイプ	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
賠償責任部分(1請求・期間中)	1,000万円	3,000万円	1億円
費用部分(1事故・期間中)	100万円(最小てん種90%)	300万円(最小てん種90%)	1,000万円(最小てん種90%)
自己負担額(免責金額)	賠償・費用ともに1事故につき 各20万円		

学生生徒数	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
~350名	3万円	5万円	10万円
351~500名			
501~1,000名			
1,001名~			

※保険料が記載されていないゾーン()部分の保険料については、(併)第一成和事務所までお問い合わせ下さい。 | ご照会下さい

※この案内は本制度の概要をご説明したものです。詳細は下記までご照会下さい。

Insurance for the Earth
東京海上日動は、マングローブ植林を通じて地球の安心・安全をひろげます。

【お問い合わせ先】
東京海上日動火災保険株式会社 公務第2部公務第1課
住所: 東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエアWEST11F 電話03-5223-2607
取扱代理店(株)第一成和事務所 住所: 東京都中央区日本橋本町3-8-3 東明ビル 電話03-5645-1071

三井住友海上
MSIG
株式会社 損害保険ジャパン